

山下法務大臣が小林代表幹事を来訪

3月18日、山下貴司法務大臣が小林喜光代表幹事を来訪。法務省のさまざまな取り組みについて説明し、協力要請をされた。

政府では社会の安定と「世界一安全な国、日本」実現のため、刑務所出所者などの再犯防止推進と就労確保のための活動を推進している。検挙者に占める再犯者の割合は5割弱に達しており、保護観察中に無職であった場合の再犯率は有職者の約5倍となっているとのこと。7月は「再犯防止啓発月間」でもあり、企業にも再犯防止活動や刑務所出所者のサポート、雇用への理解と具体的な取り組み推進への協力を求

められた。

また、グローバル化に伴い、国境を越えたビジネス紛争解決の手段として、「国際仲裁」機能が経済・金融の中心地にとって不可欠のインフラとなっているにもかかわらず、日本が手掛ける国際仲裁は年間20件程度と、年間300件以上を手掛けているシンガポールに大きく後れを取っていること、司法手続きのIT化の面でも韓国などに遅れている現状の



「再犯防止」ポスターを掲げる山下大臣（左）と小林代表幹事

ご説明と、国際仲裁に対する意識啓発への協力依頼をいただいた。

加えて、新たな外国人材の受け入れと総合的対応策についてご説明をいただいた。

No.817 April 2019 経済同友 4

C O N T E N T S

特集1

トップアスリートの就職支援ナビゲーション
アスナビがつなぐ企業と
アスリートのWin-Winな関係 03

特集2

2018年度中国ミッション報告
～転換期にある「中国の今」～ 11

特集3

2019年度事業計画 16

Close-up 提言

環境・資源エネルギー委員会【提言】
石村 和彦 委員長
2030年目標達成のため
ゼロエミッション化の推進と
将来のための取り組みを 20

Doyukai Report

第3回 会員懇談会
次世代の照明光源と日米司法制度の違い
中村 修二 氏
カリフォルニア大学サンタバーバラ校 材料物性工学部 教授 22
経済同友会 震災復興プロジェクト・チーム
シンポジウム
「復興・創生期間」の総仕上げに向けての
課題と解決の方向性 24

Seminar

第1318回 会員セミナー
核を取り巻く国際情勢
～北朝鮮、米口、原子力ビジネス～
秋山 信将 氏
一橋大学国際・公共政策大学院 院長・教授、一橋大学大学院法学研究科 教授 28

Column

私の一文字 横尾 敬介
「それぞれ違う“命”を大切に生きる」 02
リレートーク 平岡 昭良
「4月を迎えて思うこと」 27
私の思い出写真館 金岡 克己
「若いうちの苦勞」 31
新入会員紹介 29
山下法務大臣が小林代表幹事を来訪 30